

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公表番号】特表2007-503985(P2007-503985A)

【公表日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-008

【出願番号】特願2006-524907(P2006-524907)

【国際特許分類】

B 0 1 D 35/04 (2006.01)

F 1 6 L 55/24 (2006.01)

F 1 6 L 27/08 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 35/04

F 1 6 L 55/24 A

F 1 6 L 27/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フィルタ流れ回路を有するカートリッジフィルタと、

入口流れ回路と分配流れ回路とを有するマニホールド支持構造と、

バルブトップと、前記バルブトップに作動的に接続されることにより前記バルブトップを流れ開放位置及び流れ閉鎖位置の間で選択的に移動させる制御要素と、を備える少なくとも第1インラインバルブと、

を備え、

前記カートリッジフィルタが、前記入口流れ回路、前記フィルタ流れ回路および前記分配流れ回路によってシステム流れ回路が画定されるように、前記マニホールドに作動的に接続され、

前記第1インラインバルブの前記バルブトップが、前記マニホールド支持構造内で前記システム流れ回路に一体的に取り付けられる、水ろ過システム。

【請求項2】

水マニホールドであって、

マニホールド本体が、入口と少なくとも1つの出口とを有し、前記入口が、入口流れ回路に流体接続されると共に前記少なくとも1つの出口が、分配流れ回路に流体接続され、前記マニホールド本体が、バルブトップおよび制御要素を備えた少なくとも第1インラインバルブを含み、前記バルブトップが、前記分配流れ回路または前記入口流れ回路内に一体的に取り付けられ、前記バルブトップが、流れ方向に沿った前記バルブトップの並進に従って互いに異なる流れ開放位置と流れ閉鎖位置とを有する、

ことを含む水マニホールド。

【請求項3】

管を接続するコネクタであって、

第1内部貫通孔を備える雄コネクタ本体と、前記雄コネクタ本体が、テーパの軸に対して外径が大きいテーパ先端と、周囲フランジによって画定される保持部とを備える挿入部

を有し、

第2内部貫通孔を備える雌コネクタ本体と、前記雌コネクタ本体が、内部周囲陥凹部と複数の保持部材とを備え、

1本の管が、前記第2内部貫通孔内を摺動して挿入され、

前記1本の管が、前記テープ先端が前記1本の管内に存在するようにして前記挿入部に摺動可能に係合され、前記管が、前記テープ先端の最大直径より小さい内径を有し、それにより前記管直径が前記挿入部上に広がり、

前記雄コネクタ本体が、前記挿入部を前記雌コネクタ本体内に摺動させ、それにより前記複数の保持部材が前記周囲フランジに係合し前記テープ先端に対して前記管を固定的に、作動可能に係合するようにすることによって、前記雌コネクタ本体に作動可能に接続される、コネクタ。